

江崎知事 × 朝日大学 若者未来デザイン会議 開催概要



(知事と参加者の皆さん)

1. 日時

令和7年7月9日（水） 17:00～18:00

2. 場所

朝日大学

3. 参加者

朝日大学の学生の皆さん 23名
江崎知事

4. テーマ

「安心、ワクワクな住みたい岐阜を提案！」

- ①大学卒業後も「引き続き住みたい！」と考える岐阜県
- ②上記①で提案する岐阜県になるためのアイデアや視察を知事に提案

※4グループに分かれていただき、①、②についてグループごとにグループワークを実施し、発表する意見をまとめていただきました。



5. 学生たちからの意見・提案



①どんな岐阜県であれば、引き続き住みたいか

- ・交通の便が良い（本数や種類が多い）
- ・治安が良く、安心して暮らせる
- ・幅広い年代が関わり合う
- ・有名な観光地が多い
- ・自然災害が少ない又は対策がしっかりとれている
- ・娯楽施設や商業施設が充実している 等

②実現するためのアイデア、提案

- ・公共交通機関を拡充させる（電車やバスなどの便数の増や種類を増やすなど）
- ・車を使う人を減らす
- ・自動運転バスの本数や路線を増やす、モノレールの導入
- ・災害に対する意識の強化
- ・若者と高齢者をつなぐコミュニティをつくる
- ・県内就職先や企業選びガイドラインを作り、就職先の質を向上
- ・街灯を増やして街を明るくする
- ・今ある商店街に有名な店を誘致して活性化する
- ・街の良さを SNS で発信して、もっと PR する

など、多様な提案をいただきました。

いただいた意見や提案については、今後の県施策に活かすため、関係部局へ伝達します。（反映状況は年度末公表予定です）

○知事のコメント

- ・ 県職員になってほしいと思うくらい、皆さんから鋭く、冷静な分析をしていただいた。
- ・ 県外から観光に来てほしいという話となることが多いが、「地元の人を楽しめない」と県外に人が来ても楽しくない」という意見は素晴らしい視点だった。
- ・ 「交通の便が良くない」が共通した意見であったが、岐阜県は車社会であり、車だと駐車場のあるところにしか行けない。運転ができる人でないと行きたいところに行きにくい。これを解消するために歩く街を作りたいと考えている。
※LRTを使った街づくりの構想を紹介
- ・ 災害対策は勿論だが、南海トラフを想定して準備を始めている。県外からも避難してきてもらえるような政策を県民提案の形で進めているところ。
- ・ 社会は変えられるし、皆さん自身で未来は創れる。ワクワクする未来を描いてほしい。

